

砂沼戦略プラットフォーム会議

市民参加型！
砂沼戦略を振り返るワークショップ

2026年1月19日

あれもできたし、コレもやってる・・・？

あの時は想像もしていなかった
未来がもう始まっている！

10ネンゴ

砂沼戦略策定から4年…
私たちの10年後の未来を描いた
砂沼の暮らしはもう始まっている。
あれから、ちょっと変わった気がする？
10年の折り返し地点の今、砂沼戦略を
一緒に振り返ってみませんか。

砂沼戦略プラットフォーム会議
市民参加型！
砂沼戦略を振り返るワークショップ
2026年
1月19日(月)
18:30-20:00(受付開始 18:00) 下妻市役所3階会議室

目次



1. 今日のタイムスケジュール

2. ワークショップの目的

3. 砂沼戦略のふりかえり

4. グループディスカッション

1. 今日のタイムスケジュール

- | | |
|-------|----------------------|
| 18:30 | 開会の挨拶 |
| 18:35 | 下妻市挨拶 |
| 18:40 | 砂沼戦略の振り返り・全体ディスカッション |
| 19:10 | グループディスカッション |
| 19:40 | 各グループ発表（5分×3グループ） |
| 19:55 | 閉会の挨拶・今後の案内 |

2. ワークショップの目的

市民デザイン会議を経て、令和3年6月に策定した『下妻市公民連携まちづくり構想【砂沼戦略】』から4年が経過し、

現時点で見えてきた展望や課題を改めて洗い出しを行い、

10年後の下妻を描いた砂沼戦略のコンセプト

『職・住・遊・学が近接、砂沼と暮らす憧れのライフスタイル』

に向けて改めてリスタートする。

(砂沼戦略・フェーズ2宣言)

全体ファシリテーター



ほりた ようこ
堀田 陽子

- 1980年 大阪府出身
大阪府立大学農学部地域環境科学科卒
- 2007年 ランドスケープデザイン事務所、
総合建設コンサルタントを経て
- 2020年 下妻のデザインミーティング参加
- 2021年7月 Shimotsuma FREEpERを発刊
- 2022年12月 都内建設コンサル退職
下妻に移住
- 2023年12月 BLACK BIRD
Pop up and Coffee Stand を開業

資格

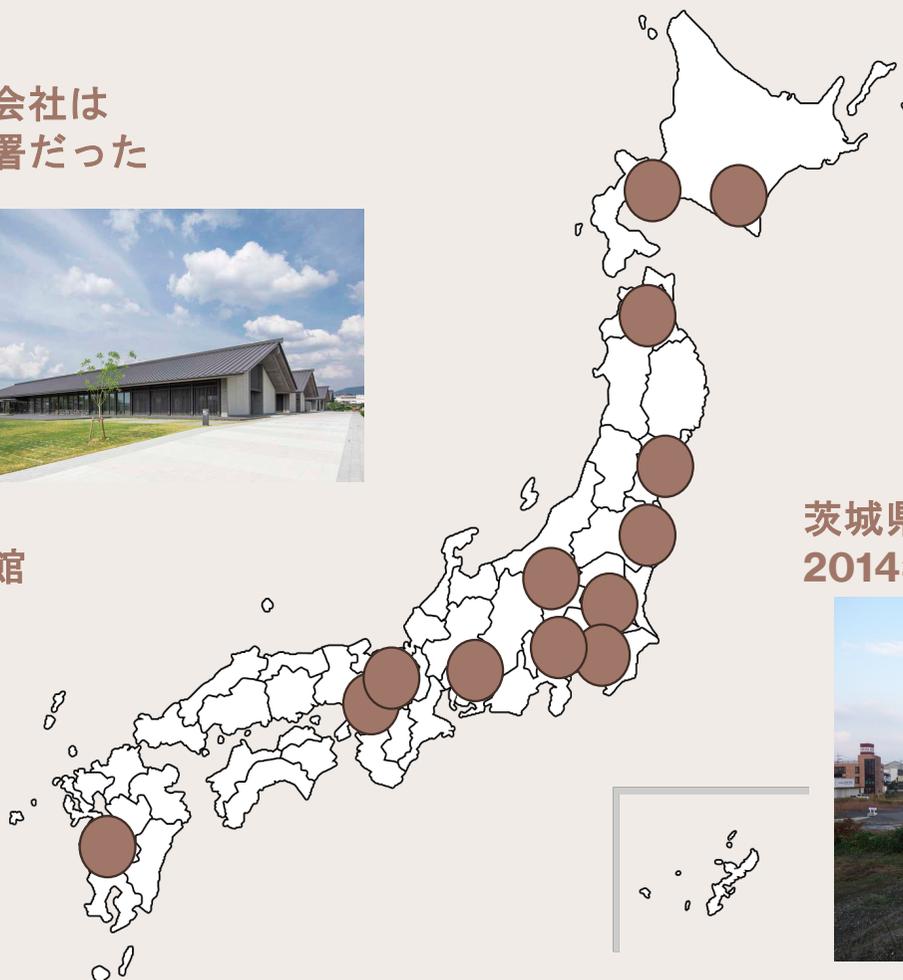
- ・ 一級造園施工管理技士
- ・ 技術士（都市及び地方計画・総合技術監理）

30代：ランドスケープデザインの仕事を通じて全国・各地に

たまたま東京で転職した会社は
全国的に展開している部署だった



同時期に担当していた
奈良の平城宮跡にぎわい館



群馬県前橋市 馬場川通り

土木学会デザイン賞最優賞
緑の都市賞「内閣総理大臣賞」
グッドデザイン賞 ベスト100等

茨城県下妻市との出会い
2014年頃の粉クリドームしもつま



全国色々な場所に行って設計・計画をすることが喜び！しかし・・・本当にまちをつくっているのは？

3. 砂沼戦略の振り返り (全体ディスカッション)

はじめに. ディスカッションのルール

一、それぞれの尊厳を大切に

みんな下妻をより良くするためにこの場所にいる。
という大前提で話し合いをしましょう。

一、意見はたくさん出せるように

みんなが発言できるよう、話は簡潔に。（3分以内で）

一、話を共有し掘り下げていく

人の話に乗っかって話を掘り下げていきましょう。

3-1. 下妻市のおさらい

緑と水に恵まれた田園都市：下妻



緯度：北緯 36度11分

経度：東経 139度58分

標高：23.40 m

面積：80.88 平方キロメートル

人口数	41,117人
男性数	20,944人
女性数	20,173人
世帯数	17,975世帯

下妻市の人口（令和7年12月1日現在）下妻市HPより

- 総面積は80.88平方キロメートルで、正方形に近い矩形をしています。その大半は、比較的肥沃な土地で形成され、中央に砂沼、東に小貝川、西に鬼怒川と水資源も豊かです。
- 茨城県南西部、東京から約60km圏に位置し、首都圏へのアクセスも良好なことから都内への通勤者も年々増加傾向に。
- 筑波山のふもと、どこまでも広がる平野では、米をはじめとする梨やメロン、良質なブランド豚肉の生産など豊富な農畜産物の宝庫
- 都会の喧騒をはなれ、自然豊かな土地で、自分らしい生活スタイルを手に入れることができる緑と水に恵まれた田園都市。

3-2. 下妻市にとっての砂沼の役割

砂沼（さぬま）は、230年以上前から地域住民によって育まれてきた農業用のため池であり、憩いの場であり下妻市内外から訪れる観光スポットです

- ・江戸時代初期、鬼怒川の治水工事により、砂沼は鬼怒川から切り離される。
- ・1726年（享保11年）幕府の新田開発政策により干拓され、田んぼとなる。
- ・干拓後、周辺地域で深刻な水不足が続く
→地元の農民が水源としての砂沼の復活を強く望む（駕籠訴）
その願いが届き、1791年（寛政3年）に再びため池となる。
- ・1950年に「茨城百景」、2010年には農林水産省の「ため池百選」に選定。
- ・現在は砂沼広域公園として整備され、周囲約6kmの遊歩道や「砂沼大橋」がシンボルとなっている。
- ・2017年には観光交流センター「さん歩の駅サン・SUNさぬま」がオープンし、観光拠点としての役割も担っている。



参考文献：『江連用水ものがたり』北邊正著
『きょう土の開発と人々のくらし-江連用水-』より



3-3. 砂沼戦略策定前後の年表-1

詳細は別紙参照

年	時代の呼称	社会の動き	砂沼戦略に関する動き
2019年・令和元年		新型コロナウイルス確認 世界的感染拡大の起点	庁内WG開始
2020年・令和2年	コロナ禍	日本で感染拡大、緊急事態宣言 観光・イベントが大幅縮小 オンライン化・デジタル化が進展	下妻デザインミーティング（4回）開催（民公一社） 下妻家守舎設立（民） 朝市、パークヨガ・ナイトマーケット開催（民） ミズベリングしもつま設立（民） 水曜マルシェ初開催（民）
2021年・令和3年（0）	ウィズコロナ	感染拡大と行動制限を繰り返す 地方移住・二拠点生活 の関心の高まり	下妻市公民連携まちづくり構想【砂沼戦略】策定 まちづくり実行委員会民公連携（通称）マジ☆みんなこれ設立（民） SANUMA LOOP 初開催（民公） まちメディア「サヌマー」始動（公） Shimotsuma FREEpER創刊（民） 砂沼戦略プラットフォーム参画者（33）
2022年・令和4年（1）	ニューノーマル	行動制限は限定的となり、 経済再開が進む EC・キャッシュレス・DXが定着	砂沼広域公園観桜苑parkrun初開催（民） お茶NOMA開設（民） 砂沼フェス・砂沼フレンドリーフェス復活（民公） レストラン・カラバオ開店（民） 砂沼戦略プラットフォーム参画者（39）

3-3. 砂沼戦略策定前後の年表-2

詳細は別紙参照

年	時代の呼称	社会の動き	砂沼戦略に関する動き
2023年令和5年(2)	ニューノーマル アフターコロナ	WHOの緊急事態宣言が終了 イベント・市民活動が再開	下妻市新庁舎に移転(公) 酒場の福すけ、BLACK BIRD開店(民) 砂沼戦略プラットフォーム参画者(43)
2024年・令和6年(3)	ポストコロナ 人手不足の時代	新型コロナが季節性流行へ 能登半島地震を契機に、 防災・地域コミュニティ の再確認	公民連携イベント「シモツカレ！」開催(民公) 「謎解きの遊覧船in砂沼」開催(学) ドッグランイベント開催(民) カフェREVOLVER開店(民) 観桜苑夜桜ライトアップ開催(民) 花火大会が復活(民公) 砂沼戦略プラットフォーム参画者(45)
2025年・令和7年(4)	AI活用時代 ...などなど	大阪・関西万博開催 Chat GPTの利用者拡大 ・AI時代の加速	しもつまグローバルフェスティバル開催(民) ホテルルートイン・オープン(民) 砂沼戦略プラットフォーム参画者(●)
2026年・令和8年(5)			都市公園のルール改正(公・予定) 桜再生プロジェクト(公・予定)
2031年・令和13年(10)	砂沼戦略から10年後の未来の下妻へ		

3-4. 令和6年度のワークショップを振り返る



R6砂沼戦略プラットフォーム会議
令和6年6月25日(火)開催

「下妻市でやってみたい、
下妻市にあると良い」と
思うものを話し合う
ワークショップを実施

- ・ アイデアは全部で、イベントからプロダクトまで、84個挙げられた。
- ・ これらのアイデアを「場所」「日常・イベント」「仮設・常設・活動」「カテゴリ」で分類の上、すでに実施されているものの洗い出しと傾向について分析を行なった。

詳細は別紙参照

3-4. 令和6年度のワークショップを振り返る（分析1）

抜粋・詳細は別紙参照

NO	アイデア・意見	対象場所	日常・イベント	仮設・常設・活動	カテゴリ	実施済	参考
1	下妻歴史カルタ	—	イベント/日常	常設	プロダクト・歴史文化		
2	歴史・文化・江連用水の成り立ち 紙芝居	—	日常	常設・プロダクト	歴史・文化・伝承	済	江連用水・Shimotsuma FREEpER
3	砂沼の上をジップラインで横断	湖面	イベント/日常	仮設・常設・活動	アドベンチャー体験		
4	水上ホテル、水上やぐら	湖面	イベント/日常	仮設・常設・活動	景観・環境整備		
5	屋台船	湖面	イベント/日常	仮設・常設・活動	水上体験		
6	競技ボート	湖面	イベント/日常	活動	スポーツ		
7	レンタル釣り	湖面	日常	仮設・常設・活動	スポーツ	済	
8	およげるサヌマ	湖面	日常	常設	スポーツ・環境改善		
9	水上スポーツ（SUP）	湖面	イベント/日常	活動	スポーツ	済	ビーチライフ
10	砂沼で鳥人間	湖面	イベント	仮設	水上体験・話題づくり		
11	涼み屋の再生	湖面	日常	仮設・常設・活動	水上体験		
12	スイムアンドラン	砂沼広域公園/湖面	イベント	活動	スポーツ		

3-4. 令和6年度のワークショップを振り返る（分析1）

- ・ 主なアイデアのカテゴリは以下の通り

大分類	小分類
歴史・文化	歴史文化・伝承
教育	学習体験、原体験・感覚体験、自然体験、子供の遊びと学び・居場所
暮らし	防災、異文化交流、スポーツ・健康、ペットとの暮らし、ファッション、カルチャー、写真、休憩・交流、音楽・カルチャー、飲食事業
観光・レジャー アクティビティ	景観・環境整備、自然体験、食の体験・ガストロノミー、アドベンチャー体験、スポーツ、アミューズメント体験、アウトドア体験、水上体験、象徴的体験、飲食・レジャー、自転車・旅行、宿泊施設・宿泊機能
整備関連	情報基盤整備、景観・環境整備、環境改善、休憩・交流、宿泊施設・宿泊機能、ブランディング、防災、許可・整備
その他	話題づくり、暮らしの実装体験、仕組みづくり、実店舗事業、空き家活用

3-4. 令和6年度のワークショップを振り返る（分析2）

仮設・イベントの事業ほど実現できている傾向がある一方で、
常設など出資リスク等を伴う事業ほど実現の進捗は遅い

→ やりたいと思ったイベントは、既に実現されている。
今後も実現できるまちであり続ける必要がある。

→ リスクを伴う、常設の出資が必要な事業については、
「下妻はチャレンジできるフィールド」という
意識付けはまだ様子見段階である。
ただし、毎年市内においては新規開業は行われている。

4. グループディスカッション

仮設・イベントの事業ほど実現できている傾向がある一方で、常設など出資リスク等を伴う事業ほど実現の進捗は遅い

→イベント等について、

今後も実現できるまちであり続けるにはどうすれば良いか。

→リスクを伴う、常設の出資が必要な事業について、

「下妻はチャレンジできるフィールド」という
イメージを持ってもらうにはどうすれば良いか。

5. 次年度の都市整備課（公）の取り組み 1

令和8年4月から都市公園での物販やイベント開催などのルールが変わります

都市公園のルール改正説明会



参加
無料

- 日程 2026年 1月27日(火)
- 時間 18時30分～19時30分(18時受付開始)
- 会場 下妻市役所4階 4-2会議室

説明内容

- 市内の都市公園の紹介
- 今回の改正のポイント
- 公園ごとのルール
- 予約申請方法の説明

都市公園のルールを改正し、公園の一部エリアで物販やイベント、写真や映画の撮影などを解禁し、公園利用の促進や利便性の向上を目指します。

お問い合わせ 下妻市役所
都市整備課 公園街路係
TEL:0296-43-8356

参加申込み 締切 1/20(火)
2次元コードから
申込みください



■主な改正内容の説明

近隣自治体の事例を参考に、使用料を定め許可を解禁し、公園利用の活性化と多様な民間活用の促進します。
※令和8年4月1日から施行し、新年度分の予約は2月1日から行います。

■行為許可の新設項目と使用料は次のとおりです。

行為の種類	使用料
物品販売	20㎡ごとに1日 1,000円
募金	公共性があるものは減免あり
写真撮影	写真機1台につき1日 1,000円
映画撮影	1日 10,000円(要フィルムコミッションに相談)
興行	1日 10,000円
競技会等	1㎡1日 2円

■申請手続きの様式が変わります。(申請時に記載する事項)

行為の種類	記載事項
物品販売	販売品目・販売価格・販売時間
募金	従事人員
写真撮影	営業時間・料金・撮影台数
映画撮影	撮影時間・人員・使用機器・現場責任者の氏名・住所
興行	興行時間・開催回数・収容予定人員・料金 使用機器・現場責任者情報
競技会等	料金・参集予定人員・使用機器・現場責任者情報

■ネイチャーセンターのギャラリーを有料貸出し公園施設に追加します。

施設	現行	改正
ギャラリー	—	半日:1,000円 終日:2,000円

■ネイチャーセンターの冬季時間(11月～3月)を変更します。

冬季閉館時間 16:00→16:30
(対象施設 ネイチャーセンター・パークゴルフ場・ギャラリー)

5. 次年度の都市整備課（公）の取り組み2

次世代につなぐ砂沼の美景 地域の絆が育てる「砂沼千本桜」

(仮) 砂沼桜再生プロジェクト概要 (案)



■概要

砂沼は下妻市を代表する桜の名所として、市民のみならず多くの観光客から親しまれてきました。しかしながら、樹木の老木化などにより、桜の開花数が減少し、観光価値や地域の誇りとしての意義が脅かされています。

(仮)砂沼桜再生プロジェクトでは、砂沼を「観桜苑」「北部」「南部」の3つのエリアに分け、特に南部エリアの桜再生を優先し、伐根・植栽・手入れを市民と共にを行います。

市民参加型の活動を重視し、ふるさと納税などの財源を活用しながら、10年間にわたる長期的な再生計画を推進することで、次世代に誇れる「桜の名所」を継承します。



お疲れさまでした。次回は2/7(土) です。
お気をつけてお帰りください。



アンケートはこちら